合理的配慮申請書

本申請書は、学生が修学上の合理的配慮を希望する際に、根拠資料（診断書・検査所見・障がい者手帳・その他障がいの状況を示す資料等）を添えて提出するものです。合理的配慮の提供は、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律（障がい者差別解消法）」に基づき行われるものとします。

申請日： 年 月 日

杏林大学長 殿

学部			ふりがな	
学科			氏名	
学籍番号				
生年月日	年	月	日	性別 男・女・回答しない
現住所	〒			
メールアドレス	PC :		電話番号	自宅 :
	携帯 :			携帯 :
緊急時の連絡先 (保護者・保証人等)	住所 : 〒			
	電話番号 :		氏名 :	(続柄 :)
診断名				
障がいの内容 <small>※身体障がい者認定者の場合</small>	視覚 ・ 聴覚 ・ 肢体 ・ 病弱・虚弱 ・ 発達 ・ 精神 ・ その他			
補助器具の使用 <small>※身体障がい者認定者の場合</small>				
障がい者手帳 <small>※身体障がい者認定者の場合</small>	有 ・ 無	身体 ・ 精神 ・ 療育 ・ その他 ()		級 種
現在掛かっている 外部機関 (病院、支援機関等)	機関名 :		電話番号 :	
	担当者 :			
修学上困難を伴う 事項				
希望する支援内容や 配慮、期間など				
	注) 以上は申請時の状態とニーズを確認するものであり、本申請書の記載内容のみで合理的配慮の内容が決定されるわけではありません。			
添付書類	☐ 根拠資料 (☐ 診断書 ☐ 障がい者手帳写し ☐ その他 :) <small>※ いずれかを本申請書に添付して提出してください。</small>			

◆個人情報の取り扱いについて

- 本申請書に記載された個人情報は、修学支援の目的のため、関連部局等との連携により合理的配慮を実施するにあたり、教員や学生と情報共有の必要がある場合、その共有範囲については、本申請者と協議して決めるものとします。
- 外部関係機関・団体等に対して、本学に在籍する障がい学生の統計資料として、学部・学年・障がいの種別等の在籍者数を公表することがあります。ただし、個人を特定できる氏名等の内容を公表することは一切ありません。

◆留意事項

- 年度ごとに本申請者との面談の機会を持ち、申請内容について相互に確認し合意形成を行います。
- 本申請者が配慮・支援によって得た情報は、自身の修学の目的以外に利用しないものとします。

以上の内容について、確認、同意のうえ、合理的配慮を申請します。

本人署名